

棚田の保全活動を通じて都市住民との交流、地域活性化を目指す！

◆鵜川棚田保存会／うかわファームマート(高島市)

「鵜川棚田保存会」は、棚田の保全活動を通じて、農村と都市との交流を図り、地域の景観を保全するとともに農業生産の維持と地域の活性化に取り組まれています。

鵜川の棚田は比良山系と琵琶湖に挟まれ、室町時代以来の石垣が南北に長く続いてできています。眼下に広がる雄大な琵琶湖と棚田の中央を鉄道が走る眺めは絶景です。そんな美しい景観とそこに棚田があるという風景を今後も守り続けるために多様な活動が展開されています。

棚田オーナー制度

本制度は、棚田保全と地域の活性化を図るための「鵜川棚田プロジェクト」の一環として、平成28年より開始されました。

耕作放棄地となって5年の農地38aを復田活用し、令和3年度にはオーナー数は38区画となりました。オーナーは、田植えと稲刈り作業に参加し、秋に棚田米を受け取る形となっています。（1区画3万円／年）



棚田ボランティア制度

平成28年度より地域活動で棚田の保全活動等を行う都市住民ボランティアを募集する「しが棚田ボランティア活動」に参加し、棚田オーナーの田植え・収穫作業のサポートするボランティアを募集しています。

うかわファームマートの運営

うかわファームマートでは、地元で採れた野菜、高島地域の特産品等を販売するなど高島市の南の玄関口として、地域の情報発信にも力を入れています。また「しがのふるさと支え合いプロジェクト」協定にも締結しているパソナ農援隊と協働し、棚田米や棚田のファンを増やそうと「鵜川棚田米おにぎりプロジェクト」を立ち上げ、棚田米のおにぎり販売を開始しています。



鵜川ふれあい農園

農地を有効活用しつつ、都市住民との交流の場として利用されています。令和3年度には23区画の貸付状況となっています。

うかわファームマート



LINE

滋賀県 農政水産部 農村振興課 地域資源活用推進室

〒520-8577 滋賀県大津市京町4丁目1-1

TEL 077-528-3962 e-mail gh01@pref.shiga.lg.jp

